

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：私立学校振興費

事業名 私立学校等給食費支援交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 私学振興・青少年課 私学助成係 電話番号：058-272-1111(内3032)

E-mail：c11151@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,591 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	7,591	0	0	0	0	0	0	0	7,591
決定額	7,591	7,591	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・令和4、5年度に、物価高騰に直面する私立学校に子どもが通う世帯を支援するため、食材費等の高騰による給食費の増額分について、学校法人に補助を行った。
- ・令和6年度においても、食材価格等の高騰が続いており、保護者負担増を抑制することを目的に、学校法人に補助を行う。

(2) 事業内容

学校給食を実施する私立幼稚園小中高等学校設置学校法人に対して、県は、補助金を交付する。

事業主体：幼稚園小中高等学校設置学校法人

補助対象：物価高騰による給食費の増額分

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10負担

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
工事請負費		
補助金	7,591	私立学校等給食費支援交付金
その他		
合計	7,591	

決定額の考え方

財源については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「第3次岐阜県教育ビジョン」における政策の目的
- 3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進
- 19 私立学校教育の振興
 - ・ 岐阜県の教育における私立学校が果たす役割の重要性に鑑み、私立学校運営の安定と教育条件の維持向上を図るため、引き続き私学助成の推進に努めます。

(2) 国・他県の状況

国の「物価高克服に向けた追加策」に位置付けられている。

(3) 後年度の財政負担

国の緊急対策として実施するものであり、予定していない。

(4) 事業主体及びその妥当性

私立学校等への運営費は、県が助成しており、妥当

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	私立学校等給食費支援交付金
補助事業者(団体)	私立の幼稚園(幼稚園型認定こども園含む。)、小、中、高等学校設置学校法人
補助事業の概要	給食費の増額分に対して補助
補助率・補助単価等	定額 (内容) 1食あたり補助上限25円
補助効果	私立学校等が提供する給食の質及び量を維持できる。
終期の設定	終期6年度 (理由) 単年度事業のため

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 物価高騰等による学校給食費増に伴う保護者等及び学校法人の負担を軽減するため、私立学校等に対して学校給食費の上昇分を補填する。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	物価高騰を受け、学校給食費用が上昇しており、一部施設で給食費の引上げを行っている状況から、補助の必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
